

## おおむた自慢



大牟田駅はJRと西鉄を含め、1日平均14,000人以上が乗降する本市の玄関口となっています。

しかしながら、大牟田駅西口については、帝京大学や大型商業施設行きのバスの乗り入れはありますが、観光案内の機能がなく、トイレも老朽化していますので、利便性向上の観点からも速やかな対策が必要でした。

このたび、大牟田駅西口のベンチやトイレ、花壇等を整備・改善し、機能充実に向けた取り組みが行われます。

### ◎西口広場に、かつて市内を走っていた路面電車が常設展示されます。

この路面電車を所有し、保存・管理されている市民団体「204号の会」から、大牟田駅で展示・活用してほしいと、市へ寄贈の申し出がありましたので、大牟田駅西口の魅力化に向け、積極的に活用を図っていくこととされました。

西鉄や「204号の会」関係者からご協力いただき、改修と同広場への移設が行われます。

#### 【路面電車の概要】

路面電車204号は、昭和18年に製造され、27年まで大牟田市内線として運行した後、福岡市内線等を走り、昭和50年に廃車。

その後は、山口県光市の市立図書館で活用され、平成23年4月に「204号の会」により大牟田市内へ移設されていました。

西鉄の200型電車としては、現存する最後の1両です。



(駅西口外観・配置イメージ図)

※走っていた当時の色に塗り替えられます。

駅西口の  
機能充実

### ◎平成31年3月から、西鉄の観光列車が運行開始されます。

この観光列車運行により、沿線各地の魅力や地域資源を発掘・活用し情報発信することで、地域の活性化にもつながるものと期待されています。また、観光列車に対応した観光タクシーの運行も始まります。

これにあわせて、列車到着時のおもてなしや、今回整備される路面電車の展示場周辺においてマルシェ等のイベントも開催される予定です。

#### 連絡橋 の改修



(イメージ図)

### ◎大牟田駅連絡橋が改修されます。

東口と西口をつなぐ大牟田駅連絡橋は、平成2年に開通してから28年以上が経過し、多数のさび、雨漏り、通路や階段のタイル破損などが発生しています。また、雨漏りなどで通路が滑りやすくなり通行しづらい状況もあります。

そこで、建屋や通路など、全面的な改修が行われます。夏場の暑さ対策として開口部を広めにとるなど、風が通り抜けるように改良される予定です。工事期間は平成32年3月までの予定です。

#### 編 集 後 記

大牟田市のまちづくりは、市民の皆さんの力や知恵をお借りした協働によるまちづくりが重要と考えます。協働のまちづくり推進条例にも示されているように、市民の皆さんとの協働によるまちづくりが、あらゆる機会に生かされていることに深く感謝しています。

市議会としましても、我がまちの活性化に向け、これからも努力を続けていきます。(1)

#### ■編集 広報広聴委員会広報部

【委員長】橋積和雄 【副委員長】古庄和秀

【委員】光田茂 森竜子 今村智津子 大野哲也 塚本二作

#### ■発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail : e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

#### ■印刷 株式会社野口印刷所